

# 傷害事故発生！

**教育は？ 会社の対応は？ 事故の本質について深く考えよう！**

先日、TK内のある職場で傷害事故が発生しました。幸い受傷の程度は軽く、受傷した本人は翌日から通常通りに出勤しています。今回の事故は未経験の作業で不適切な取り扱いを行ったことによるものです。しかしその背景や事故発生後の会社の対応などについて問題があると思われます。

まず本人は当該の作業について全く経験がなく、教育もなされていませんでした。そして当日は設備の不具合を管理者に報告したところ、当該の作業を指示されました。しかし経験がないことを話すと「こうすればいい。」とだけ言われました。ところが当該の作業の前に必要な手順が伝えられずに当該の作業を行い受傷したのです。この職場の社員教育はどうなっているのでしょうか？この作業自体は決して複雑な作業ではありません。しかし未経験者に作業させ傷害事故が発生している以上、教育の体制や安全への姿勢がどうなっているのか、その不備について指摘せざるをえません。

次に事故後にある管理者が「今回は未経験者が勝手にやった事だ。」と話していたようです。本人は「管理者の指示があった。」と明確にしており、会社にもそのように報告しています。従ってこの管理者の発言が事実だとするならば、それは自己保身に他ならず、決して許せるものではありません。またある施工科では朝礼時に科長から事故について社員周知がありました。そのなかで「この社員は当該の作業経験がなかった。だから経験者が来るまで待てばよかった。」と話していました。この科長がどのように報告を受けたのか不明ですが、事故が発生した職場では30人近くいる社員のうち当該の作業の経験者は2~3人程度で、しかもそれが誰なのか受傷した本人は知らないとのこと。もしこのような事が把握されていれば、科長の朝礼での社員周知も別の表現になったのではないのでしょうか。

今回の事故を受けてCSや安全衛生委員会で議論がされると思います。それ自体は必要かと思いますが問題はその内容です。事故の本質をつかみとり再発防止に向けた対策を確立するためには、教育の現状をはじめとする職場の現実を深く掘り下げる必要があります。そのうえで事故を繰り返さないためには何が必要なのかを考え方針として全体化しなければなりません。私たちはこれからもなんでも話し合える、事故のない明るい職場を目指し、あらゆる形で発信していきます。



**安全で安心して働ける職場を目指そう！**